

Rosario Giuliani Quartet JAPAN TOUR with 徳田雄一郎

●Rosario Giuliani/ロザリオ・ジュリアーニ (sax)

<http://www.rosariogiuliani.com/>

1967年イタリア・ラティナ県テッラチーナ生まれのアルトサクソプレーヤー。ローマ在住。1987年イタリア国立フロジノーネ音楽院を首席で卒業。1990年ヨーロッパ・ジャズ・オーケストラに参加。その後は、エンニオ・モリコーネなどの多くの映画音楽の仕事にも関わり、イタリア及び外国のレコード会社と様々なレコーディングを行う。参加アルバムは60枚以上。

国内外の録音及びコンサートの共演者は、フィル・ウッズ、マーク・ターナー、マーク・ジョンソン、ジョーイ・パロン、ジョー・ロック、ピーター・バーンスタイン、カート・ローゼンウィンケル、ジョーイ・デフランセスコ、ジョン・パティトゥッチ、エンリコ・ラバ、フランコ・ダンドレア、ファブリツィオ・ボッソ等。共演者は国内外を問わず数え切れない。また、数々の賞を受賞し、イタリア国内だけでなくヨーロッパ全土にロザリオ・ジュリアーニの名前を知らしめる。

巨匠エンリコ・ピエラヌンツィとはデュオでレコーディング及びツアーを行っている、エンリコが最も信頼をよせている共演者。ヨーロッパ、アジア各地のジャズ祭に多数出演。ロザリオ・ジュリアーニは今、最も勢いと人気があるイタリアが誇る世界的サクソ奏者。その人柄は共演者のみならず観客も魅了する。

近年はRosario Giuliani Quart/The Hidden Side、DUO Enrico Pieranunzi & Rosario Giuliani / Duke's Dream他多数をリリース。



●Luciano Biondini/ルチアーノ・ビオンディーニ (acc.)

<http://www.accordions.it/artisti/luciano-biondini/>

1971年イタリア・ウンブリア県スポレート生まれのアコーディオン奏者。10歳から楽器を学び、多くの全国大会で優勝。様々なヨーロッパ諸国(スペイン、ドイツ、デンマーク、クロアチア、アンドラ)のコンサート、映画祭、テレビ、ラジオ、多くのイタリア内外のジャズフェスティバル(ウンブリアジャズ、アンコーナ祭等)に出演。これまでの共演者はエンリコ・ラヴァ、ファブリツィオ・ボッソ、トニー・スコット、ガブリエレ・ミラバッシ等。ダイナミクスに富んだ音色と歌心に満ちたフレーズはまぶしいほどに光り輝いている。日本でもルチアーノの情熱的なプレイにファンが多い。今回が初来日。

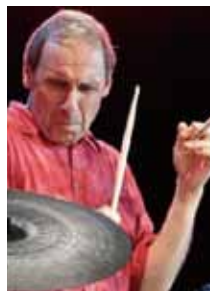
FACE TO FACE /DUO Luciano Biondini & Fabrizio Bosso、Mavi / Luciano Biondini・Michel Godard・Lucas Niggli、SOLO/ Senza Fine他多数をリリース。



●Joe La Barbera/ジョー・ラ・バーバラ (ds)

<http://www.jazzcompass.com/index.html>

1948年ニューヨーク生まれ。ロス在住。パット・ラ・バーバラ(sax)は実兄。ビル・エバンストリオ(1978年~1980年)の最後のドラマーとして知られている。エバンスが今までの中で最高のトリオと絶賛していた。その後はトニー・ベネットとの共演は10年間続いた。レコーディング、コンサートでの共演者はハンク・ジョンズ、ジョン・スコフィールド、エンリコ・ピエラヌンツィ、ジョー・ロバーノ、ケニー・ホイラー、エディー・ゴメス、マーク・ジョンソン、ランディ・ブレッカー、マイケル・ブーブレー等多数。自己のクインテットでも活動中。レーベルJazz Compassを創設し、The California Institute of the Artsで教鞭を取っている。アルバムは世界中において数え切れないほどリリースされている。自国はもとよりヨーロッパ、日本でも共演希望者は多数。今のジャズシーンをリードする最も多忙なNo.1ドラマーである。2016年、2017年Dado Moroni - Eddie Gomez - Joe La Barbera "Kind of Bill"でイタリアツアーを行う。2018年"Distant Bells/Remembering Bill Evans"をリリース。



●Hideaki Kanazawa/金澤英明(b)

<http://kanabass.web.fc2.com/index.html>

1954年札幌市生まれ。日野皓正グループのレギュラー・ベーシストを務める傍ら、ジョージ大塚、近藤房之助、渡辺貞夫、阿川泰子等数多くのミュージシャンと共演。ライブ活動や多数のレコーディングにおけるアレンジャーとしての才能も高い評価を得ている。

巨匠ハンク・ジョンズ(p)を迎えての自己のリーダー・アルバム2作目『ハッピートーク』では、“ベースはこんなにも豊かな音楽を表現しうる楽器である”ことを証明した。2009年、日野皓正グループを退団。堅実なベース・ワークとその人柄も多くのファンの支持を得る。海外ミュージシャンからも熱い信頼を寄せられ、昨年のロザリオ・ジュリアーニ カルテットツアーに引き続き参加。



●Yuichiro Tokuda/徳田雄一郎(sax)

<http://www.yuichirotokuda.com/>

1981年3月9日、千葉市出身。サクソ奏者/ボーカリスト/作曲家。03年、バークリー音楽院卒(米、ボストン)。

04年より活動の拠点を日本に移す。06年、自らが代表を務めるインディーズレーベル「GoodNessPlus Records」を設立。現在までに6枚のアルバムを発表。「現在進行形ジャズの、ひとつの最先端だろう。」(ジャズ専門誌「JazzLife」)など各界から注目を浴びる。

08年1月、千葉市芸術文化新人賞を受賞。11年6月、全米、ヨーロッパ放送【BBC Radio America / WGBH Boston】にて【The story of Japanese Jazz artist Yuichiro Tokuda】が放送される。同9月、The UK Songwriting Contest (英) Jazz部門 ファイナリストノミネート。中国 第10回記念南京国際ジャズフェスティバルへ出演。アジアから初めて選出される快挙。

12年3月、世界最大規模ミュージック・カンファレンス【Canadian Music Week 2012 (以下、CMW)】(加、トロント)30周年を記念し、CMWの一環として初めて開催されたジャズフェスティバル【CMW Winter Jazz Festival】に日本人初出演。

13年、前年に引き続きCanadian Music Weekに2年連続出演し、出演数1000バンドを越す中、評論家投票で10点満点中/9.8ポイントの第一位評価を獲得する快挙を果たす。国際作曲コンペティション(米)ジャズ部門 2010,2012,2013年度ファイナリスト。

現在、自己のバンド【徳田雄一郎RALYZZDIG】を中心に、世界的に活動の幅を広げている。



千葉市美浜文化ホール
Chiba City Mihama Culture Hall

〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-15-2

施設お申込み、主催事業等の公演 お問い合わせは

美浜文化ホール ☎ **043-270-5619**

便利なオンラインチケット予約サービスをご利用下さい

WEBでご予約後、最寄りのセブンイレブンでご購入いただけます。

[WEB www.chiba-aw.jp/mihama/](http://www.chiba-aw.jp/mihama/)

営業時間：9:00～22:00(窓口～18:00) / 休館日：毎月第3月曜日(祝日の場合、翌平日)

最寄駅よりのアクセス

・JR京葉線 検見川浜駅 北口より徒歩 8分

・JR総武線 新検見川駅 南口よりバス※10分

※南口バスロータリー4番乗り場より乗車。3つ目『美浜区役所』下車 徒歩1分

